



上山小学校「風のたより」

令和6年12月12日(木) 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



「ぺこり にっこり」(*^^*)

最近の朝の空気は寒さでピンと張りつめています。布団の中から出る時は「あと少しだけ・・・」とちょっと億劫になるのですが、いざ外に出た時の爽快感は抜群です。



10年程前でしょうか。ある学校近くを車で通りかかったところ、信号が赤にかわり、小学生が一礼をして横断歩道を渡りました。渡り終えた小学生は、もう一度ドライバーである私と対向車のドライバーに深々と礼をして立ち去っていきました。言葉を交わしたわけでもないのに、私はその行動にとても感動しました。思わず顔の筋肉がほころびました。よくあることなのかもしれませんが、ちょっとした行動は、人の心に大きく影響することを改めて感じました。「ぺこり にっこり」効果です。それから、これまでの自分の行動を反省し、その子どもたちから学んだことを実践することにしました。子どもたちを校門で迎える時に、通り過ぎる運転手さんと卒業生にも一礼することを現在も続けています。今では、「ぺこり にっこり プツ」と、運転手さんも手を上げてクラクションを鳴らしてくれます。いつも笑顔をありがとうございます!(*^^*)



おやどをするよ 名のない草の いえいえそれは いらぬ土は ぶたれぬ土は ふまれぬ土は いらぬ土は	車を通すよ よいみちになって ふまれる土は 朝からばんまで ぶたれる土は よい麦生むよ	こつつんこつつん ぶたれる土は よいはたけになって よい麦生むよ	土 金子みすゞ
--	--	---	----------------

伸びる時期に 伸びたいように 伸びたい方向に

私がこの世に生まれた場所は、諫早市永昌町にあるアパート（長屋）でした。当時、母は助産婦（助産師）さんの力を借りて、自宅で出産をしたそうです。助産婦さんの仕事をされている方のお話が小冊子にありましたので御紹介します。

「私は、助産婦としてお産に関わる中で、子供が生まれながらにして持っている能力や力強さに驚かされます。例えば、お産は長い時で30時間かかります。母親もへとへとになるほどの強い陣痛を受け止めていながら、生まれ出てくると、手のひらを精一杯開いて、足をピンと伸ばし大きな声で泣きます。そのエネルギーには、神々しささえ感じます。この生まれ出る力をもって、これからの人生も生き抜いて行けると思わずにはいません。

一方で、出産の時に無事に生まれてきてくれたらという祈りにも似た願いが、いつの間にか大きく膨らみ過ぎてはいないでしょうか。願いはやがて期待という鎧（よろい）に変わり、それを我が子に着せてはいないでしょうか。期待という色眼鏡で子供の本来の姿を隠してはいないでしょうか。このようなことを自分の子育ても含めて思うことがあります。



子供が生まれながらにして持っている力は、く伸びる時期に、伸びたいように、伸びたい方向に自ら伸びていくのだと思います。私たち大人ができることは、子供が持っている力をのびのびと発揮できるように、話を聴き、時にはサインに気づき、急がず、共に考え、その時その子の状態に応じて周囲に相談し、すごしやすい状況を整えることぐらいではないでしょうか。（そして親になる）より

私たちは、子供の生きようとする力を信じつつも、「手を離して、目を離さず」の姿勢で見守っていくことが大切だと学びました。

もうすぐクリスマスですね！子供は節目に楽しみ事があるとウキウキした表情を見せてくれます。皆さんにココロオドル素敵な年末が訪れますように！

(*^^*) メリークリスマス♡🎅

☆上山小のHPもご覧ください。学校だより（表）の2次元コードをご利用ください。